

授業科目 社会福祉援助技術各論Ⅱ

【担当教員名】 西村 順子	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】

【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】

社会福祉援助技術のうち、直接援助技術の1つである集団援助技術（グループワーク）について、理論、価値・倫理および方法・技術について、体系的に学ぶ。

1. 集団援助技術（グループワーク）の定義、基本原理・原則について理解する。
2. 集団援助技術（グループワーク）成立過程と諸理論（アプローチ）について理解する。
3. 集団援助技術（グループワーク）の基本的な技法及び援助展開課程を理解・習得する。
4. 事例研究を通して集団援助技術（グループワーク）実際について理解を深める。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		
2	社会福祉援助技術と直接援助技術		
3	集団援助技術の意義・定義		
4	さまざまな集団援助技術①		
5	さまざまな集団援助技術②		
6	集団援助技術の歴史と理論・アプローチ①		
7	集団援助技術の歴史と理論・アプローチ②		
8	集団援助技術の展開課程①		
9	集団援助技術の展開課程②		
10	集団援助技術の展開課程③		
11	集団援助技術の展開課程④		
12	集団援助技術におけるメンバーおよび援助者の役割・課題①		
13	集団援助技術におけるメンバーおよび援助者の役割・課題②		
14	まとめ		
15	試験		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	第1回講義の中で、提示する。			
参考書	黒木保博〔ほか〕著 『グループワークの専門技術：対人援助のための77の方法』 中央法規出版、2001年 武井麻子著 『「グループ」という方法』 医学書院、2002年			
その他の資料				

【評価方法】 出席状況及び受講態度（40％） 最終試験（60％）	【履修上の留意点】 講義に関係のない私語は他の履修者の学習権の侵害になることを十分に留意すること。
--	--